

わたしは、すぐに来る。あなたの冠がだれにも奪われないように、

5

nt おそ 痛み恐れにて 満たさるおりも ちゅうじつ 尽くし通さば われに忠実を 尽くし通さば かむり いのちの冠を われなれに与う だいに なれをば第二の 死より守らん。」

6

は つるぎ もろ刃の剣を 口に持ちたもう かた かた お方が語れり 「なれは忌むべき おし 教えをしりぞけ まことの信仰を あかし 証したるをば われは見るなり。

7

*** はな はな 後れずざん悔し 罪を離れて ぐうぞうちから さ もの 偶像の力 避ける者には われマナを与えん 彼のみの知れる うつく 白き美しき 石を与えん。」

8

9

よげんしゃ わが預言者をば いつわり名のり しもべ わが僕らをば 罪にまどわす とおはな イゼベルの業を 遠く離れよ この世の神より またく離れよ。

10

きいわ 幸いなるかな わが教え聞き わが業と言葉 よろこびをもて たも おわりまで保ち 続けしものよ あ みょうじょう 明けの明星を われは与えん。

11

はしょくだい み神の七つの 星と燭台 も かた 持たれるお方が なれに語れり ねっじょう 「神への熱情 なれを離れたり 13

ダビデの鍵をば 持たれる方が まえ かく語りたもう 「われなが前に いた も ひら お 命に至れる 戸を開き置きぬ ちかし かさき力もて 証をなせば。

14

まやかしの真理 なが前に置く そをなれが見分け 捨てさりしなば われなが信仰の 真なるを知り なれをばわがみの 宝となさん。

15

すく おも いた 救いを思いて 痛みあざけり よろこび忍べる なれは幸なれ。 われは来たるべき 神の国にあるせいじょはしら 聖所の柱と なれをばなさん。」

16

ちゅうじつかた アァメンたる者 忠実な方 しょうにん まことの証人 かく語りたもう なま 「なれは生ぬるし 口より吐き出さん ** 燃ゆる愛はいま いずこにありや。

17

あわれむべき様 なれは知らずや
はだか もうもく
なれは裸なり 盲目なるを
気づきてわれより 目薬と金と
しろころも か もと
白き衣をば 買い求めずや。」

18

主が心の戸を たたかれる時 愛のおしえをば 受け入れまつる→ なれは幸なれや 主はその心を